

2022 年度上期

20203 年 5 月 30 日

みやぎ生協 福祉活動助成金 助成活動報告書

団体名	桜会	
代表者名	馬場 幸江	
連絡先	TEL : 090-5839-6050 FAX : 022-249-1797	E-mail baba270605@gmail.com

1、助成事業報告

助成を受けた事業名	(桜カフェ) 開催による地域活性化事業
事業の目的	高齢になっても障害があっても閉じこもることなく地域において役割と生きがいをもって暮らすことができるよう地域の中に交流できる場づくりをすすめる。コロナ禍においても閉じこもりがちになる方のフレイル予防をめざし、地域の中で体を動かし健康維持できる集いの場づくりを進める。支援される立場だけでなくそれぞれが役割を発揮できる場作りを心がける。 また、地域の福祉施設との交流によるプログラム等で地域の社会資源を活用する。
事業の具体的内容	毎週木曜日緑が丘 4 丁目会館を拠点に集いの場を展開する。 第 2 木曜日は参加と交流の会として五感を使うことを意識したプログラムを展開する。 音楽を聴いたり季節のお菓子やお茶を楽しんだり手先を動かす物づくりのプログラム等を実施する。第 1・第 3 木曜日は体づくりの会とし、軽体操や健康に関する講和を行い、ストレス解消やフレイル予防のプログラムを実施する。 プログラムの内容は参加者の特技披露の機会を設け支援される側と言う立場だけではなく、それぞれが役割を発揮できる場作りを心がける。また、地域の幼稚園や福祉施設等との交流による活動プログラムなどで地域の社会資源を活用する。

<p>活動の開始から完了までの流れ</p>	<p>①再会の挨拶とスタッフ紹介。当日の流れについて説明 ②ウォーミングアップをして体をならし、物づくり等に臨む。 プログラムの内容は参加者の特技披露の機会を設け支援される側と言う立場だけではなく、それぞれが役割を發揮できる場作りを心がける。また、地域の幼稚園や福祉施設等との交流による活動プログラムなどで地域の社会資源を活用する。</p> <p>①再会の挨拶とスタッフ紹介。当日の流れについて説明 ②ウォーミングアップをして体をならし、物づくり等に臨む。</p> <p>③2部構成になっており 1部：体操→物づくりや参加者の特技披露。 2部：昔懐かし音楽を聴いて、共に口ずさむ。 回想ができ刺激も与えられることで生活にメリハリができる 一緒にみんなで歌うことで他者との交流が取れる。</p>
<p>活動の成果と教訓</p>	<p>東日本大震災から早や12年。この地区は仙台市内では大打撃を受け町内の半数がこの地区を離れなければならない事態になりました。それまでは地域を担っていたのはこの地区の高齢者でもあり住民でもありました。震災により町内は分断されこの地区をやむなく離れざるをえなくなり、この地で育った人・新たに居を構えた人さまざまな状況となり、それぞれの人生にも変化訪れました。そのためこの地区は交流が途絶え高齢化も加速。殺伐とした人間関係・閉じこもり・孤独死も増えました。サロンを開催することで人が集まり交流が増え、この地を出ざるを得なかった方たちが故郷に戻れるような喜びをもってもらえること。知り合いがいなく過していた方が、サロンに参加することで知り合いができた。</p> <p>小子高齢化が加速している地域でお互いがお互いを助け合え、サロンに来ることでお互いの安否を気にし合えるような関係性づくりを望んでいました。</p> <p>※開催から3年が過ぎました。コロナ感染が徐々に増えつつある中での開催でしたが多くの人が集まってくれました。</p> <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「家の中にいると足腰が弱くなる」「毎日誰と話すことも無く一日が過ぎる」等の声が多く聞かれ「ここに来ると誰かがいる」とつぶやける集いの場ができた。 ・参加することにより様々な状況から健康的に生きる意欲につながり社会性の維持につながり笑顔が絶えない

	<p>様子が見られるようになった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フレイル予防をすることで <ul style="list-style-type: none"> ・身体的な衰えの予防 ・心理・精神的な衰え（認知機能の低下）の予防 ・社会性の衰え（社会とのつながりが減っていく）の予防等の効果がみられる。 他者交流・認知症予防・手先の運動・発想などの新しい息吹を盛り込むことで活性化する効果みられる。 ・五感を使うことで回想や刺激も与えられ生活にメリハリができた。 <p>教訓</p> <p>これらは、すべて体づくり・認知症予防・意欲の活性化に繋がり、少子高齢化が加速している地域で、お互いがお互いを助け合いサロンに参加することでお互いの安否を気にし合えるような関係性づくりができ、住民同士の横のつながりが構築され、住み慣れた地域で生き活きと共に過ごせ穏やかな支え合いの仕組みができる様になれる。（そこに行けば誰かに会えると思えること）</p>
<p>今後の展望など</p>	<p>高齢になっても障害があっても閉じこもることなく地域において役割と生きがいをもって暮らすことができるよう地域の中に交流できる場作りを進める。閉じこもりがちになる方のフレイル予防をめざし、地域の中で体を動かし健康維持できる場づくりを進め、やがて大きな輪になれるようにしていきたい。</p>

助成金報告書(令和4年10月～令和5年3月まで)

■収入の部

確保した資金内容	金額(円)	備考
福祉活動助成金	500000	ワークショップ材料費・広報作成費・会場使用料・保険料・交通費
他機関助成金	0	
自己資金	100000	
その他(参加費)	84000	
合計	684000	

■支出の部

費目	内容	予算額	実支出額
会場使用料	1000(円)/1(回) 2回/月×6回	12000	5000
ボランティア交通費	3000(円)/1(団体)×12(団体)	36000	15000
ワークショップ代	1000(円)×人数×回数 1000(円)×35人×12回	420000	90596
ボランティア保険	30(円)×人数× 30円×25名×12(回)	9000	3600
広報作成費	インク代(10000)紙代	20000	27054
物品購入費(感染対策)	消毒液等	20000	2750
自己資金	自己資金 83000(円) 参加費200(円)×35(人)×12	167000	12972
合計		684000	156972

内訳 (助成金)500,000-(支出額)144,000 =(残額)356,000 (円)

助成金報告書(会費及び自己資金)

■収入の部

確保した資金内容	金額(円)	備考
参加費	26,200	200円/人(131名/6ヶ月)
自己資金	83000	自己資金
合計	109,200	

■支出の部

費目	内容	予算額	実支出額
自己資金	自己資金	83000	0
会費	参加者会費 (200円×30人×6か月×2回)	72000	12,972
合計		155000	12972

内訳 (総入金額)26200 -(総支出額)12972 =(残額)13228 (円)

※参加者が高齢であり、コロナ感染対策と感染防止のため月1回開催のみとなりました。
感染者が一人も出ていないことが幸いです。

活動報告書 (R4年 10月 1日～R5年 3月 31日)

月	実施内容	備考
10月	<p>13:00 フレイル体操 参加者による詩吟披露 物づくり 介護についての知識を広めよう (訪問入浴について実演)</p> <p>14:00 音楽鑑賞 (管楽器と歌) ミーティング (評価と次回の予定について意見交換) 企画会議</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者による詩吟披露 本人の意識も高まり、3人者の破棄も上がり拍手喝采。 ・訪問入浴実演 (寸劇で) 介護についての知識が希薄のため、季語サービスを受けることになっても少しでも不安のない生活ができる様に開催。 参加者の真剣に耳を傾ける姿があった。 ・音楽鑑賞 音楽鑑賞をしながら、回想していた。
11月	<p>13:00 フレイル体操 (包括支援センター所長による体操) 物づくり:あまり布で作るリース作り ドジョウ掬いの会による演技と参加者参加型のドジョウ掬い披露</p> <p>14:00 音楽鑑賞 (ホルーン演奏と歌) ミーティング (評価と次回の予定について意見交換) 企画会議</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・フレイル体操 足腰に障害みられても動ける範囲で参加していた。 ・物づくり 本人の発想による色使い等で作成するため生き活きとしていた。 ・どじょう掬いの会の演技で盛り上がりがあった。 意欲の活性化につながった。
12月	<p>3:00 フレイル体操 講師によるアレンジメント生花</p> <p>14:00 手品師による手品披露 音楽鑑賞 (ホルーン演奏と歌) ミーティング (評価と次回の予定について意見交換) 企画会議</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・講師によるアレンジメント生花 「お正月を生けよう」をテーマに生花を講師の指導によりアレンジメント 参加者の意欲の活性化につながっていた。 ・手品師の手品披露と参加者も一緒にする参加
1月	大雪のため中止	

2月	<p>13:00 フレイル体操（音楽 北国の春に合わせて体操）地域包括協力 ひな人形作成</p> <p>14:00 スタッフによる日本舞踊披露 音楽鑑賞（演奏と歌） ミーティング（評価と次回の予定について意見交換）企画会議</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・フレイル体操 地域の福祉施設の協力を得、歌謡曲に合わせて体操。参加者も朽津佐見ながら、参加者全員が参加し森上りがあった。「しばらくぶりで運動出来た」の歓声が多かった・ ・物づくり ひな祭りにちなみひな人形を作成。 しばらくぶりでお雛様を飾れると喜びの声が聞こえた。
3月	<p>3:00 フレイル体操 （介護事業所講師による体操：音楽に合わせて） 陶芸教室（陶芸講師の指導の元）</p> <p>14:00 音楽鑑賞（演奏と歌） ミーティング（評価と次回の予定について意見交換）企画会議</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・物づくり 陶芸教室（陶芸講師の指導の元） 粘土をこねて本人発想の元作成。 出来上がりを楽しみにしているワクワク感が感じられた。





